

# electro-harmonix

## RING THING

### Single Sideband Modulator

#### 取り扱い説明書

Electro-Harmonix The Ring Thing をご購入いただきありがとうございます。The Ring Thing はリングモジュレーション、シングルサイドバンド:アッパー、シングルサイドバンド:ローワー、ピッチシフト、4 タイプのモードを搭載し、いずれもフリーケンシーもしくはピッチシフトモジュレーションをそのエフェクトに活用します。リングモジュレーター セクションは Electro-Harmonix Frequency Analyzer をベースにスイーパーブル フィルター、プリセット、エクスプレッション ペダルコントロールをキャリア ウェーブフォームに選択可能に進化を遂げています。シングル サイドバンド モジュレーションはリングモジュレーションをベースにした新エフェクトで 1 バンドのみでより調和したエフェクトが得られます。更にモジュレート可能なパワフルなピッチシフトを搭載。ディチューン、ヴィブラート、コーラス、トランスポーズがまた、エクスプレッション ペダルを合わせて使用しますとワーマータイプのエフェクトまで得られます。

#### 特長

動作モードX 4タイプ搭載: リングモジュレーション(RM)、アッパー バンド モジュレーション(UB)、ローワー バンド モジュレーション(LB)、ピッチシフト(PS)

シングル サイドバンド フリーケンシー シフター+セパレート アッパー&ローワー サイドバンド アウト

簡単な操作で入力信号に合わせてリングモジュレーターをオートマティック チューン可能

リング及びSSBモジュレーターがインストゥルメントでプレイしたノートにオートマティック チューン可能

ピッチシフト:レンジ+/- 2 オクターブ

5タイプのモジュレーション ウェーブフォーム: Square, Sine, Ramp up/down, Triangle.

エクスプレッション ペダルにてキャリア フリーケンシー、ピッチシフトをコントロール可能

エクスプレッション ペダルと合わせてワーマータイプのエフェクト可能

外部オシレーター/モジュレーション入力搭載

モノ入力/ステレオ出力 (全モード)

プリセット可能(9プリセット)

**重要: 必ず付属の専用ACアダプターにて電源を供給してください。他のACアダプターの使用は故障の原因となることがあり、また、他のACアダプターをお使いになった際の故障については保証の対象外となります。**

#### - クイックスタート ガイド -

#### ベーシックなアンプ接続

1. アンバランス シールドケーブルにて楽器の出力と Ring Thing の INST ジャックを接続してください。
2. Ring Thing の MONO L アウトジャックとギター(ベース、キーボード)アンプをアンバランス シールドケーブルにて接続してください。
3. 専用 AC アダプターを電源に接続してください。
4. 専用 AC アダプターを Ring Thing の 9V ジャックに接続してください。
5. アンプの電源をオンにしてください。

#### リングモジュレーター モードでのベーシックセッティング

このモードでは Frequency Analyzer の持つ全てのサウンドに加えて更に機能、バリエーションが追加されています。

1. 前述の要領で Ring Thing を接続してください。
2. ステータス LED が点灯するよう BYPASS フットスイッチを押してください。
3. RM の LED が点灯するよう MODE ノブを押し、リングモジュレーター モードを選択してください。
4. BLEND, WAVE, FINE/DEPTH, COARSE ノブを 50%/12 時程度にセットしてください。
5. FILTER/RATE ノブを最大にセットしてください。
6. エクスプレッション ペダルを接続している場合、ペダルを踏み込んだ状態にセットしてください。
7. FINE 及び、もしくは COARSE ノブにてモジュレーション フリーケンシーを変更可能です。

### リングモジュレーターのアートマティック チューン

楽器にて1音プレイし、PRESET/TUNE フットスイッチを約1秒、長押し(ホールド)してください。Ring Thingの内蔵モジュレーターが自動的にプレイされた音にチューニングされます。この機能はモノフォニックでプレイされた和音の解析ではなく、基準音の検知を目的としてデザインされています。継続的に入力信号にチューンするために、PRESET/TUNE フットスイッチをホールドしておくことも可能です。

### WAVE 機能

WAVE ノブにてリングモジュレーターのエッジフォームを設定します。(RM, PS モード) ノブ最小から SQUARE, SINE, RAMP DOWN, RAMP UP, TRIANGLE.へとノブを上げるにつれ変化します。プレイしながらノブを回してみてください。エッジフォームによってハーモニクスをより多く生み出すものとそうではないものがあることをお分かりいただけます。

### エクスターナル オシレーターの使用

リングモジュレーターのカリヤとして外部オシレーターを使用したい場合、WAVEノブを最小にセットし、Ring ThingのMODインプットジャックに外部インストゥルメント、マイクプリアンプなどを入力してください。MODインプットに入力した信号がRing Thingの内蔵モジュレーターより優先されます。RM, UB, LBモードでは外部オシレーターはエフェクトのカリヤ信号となります。PSモードではピッチシフト量がコントロールされます。

### エクスプレッションペダルの使用

EXP ¼" ジャックにエクスプレッション ペダルを接続し、FINEノブを最小にセットしてください。エクスプレッション ペダルにてモジュレーション フリーケンシーをコントロールできます。COARSEノブにてペダルを踏み込んだ際のレンジを調整可能です。

### フィルターの使用

RMモードではFILTER/RATEノブはローパス フィルターのカットオフ フリーケンシーをコントロールします。そのため、リングモジュレーション エフェクトのトーン、倍音量を調整できます。

### トレモロとしてのリングモジュレーションの使用

RMモードにてBLENDノブを最小に、COARSEノブを9時以下にセットしますとRing Thingにてトレモロのようなエフェクトが得られます。WAVEノブにてトレモロの波形を、FINEノブにてレート进行调整可能です。

### トラブルシューティング

リングモジュレーターが聴こえない場合や、予期せぬ何かが起きた場合、BLENDノブが50%以上にセットされているか、FILTER/RATEノブが最小にセットされていないか、ご確認ください。

### ローワー(LB)/アッパー(UB) サイドバンド モードでのベーシック セッティング

UB及びLBモードではリング モジュレーターの信号をそのサイドバンドにスプリットし、選択されているモードがMONO/Lアウトから出力され、もう一方がRアウトに送られます。そのいずれかが出力されます。例を挙げますとUBモードではアッパーバンドがMONO/Lアウトから出力され、ローワーバンドがRアウトに送られます。

1. 前述の要領で Ring Thing を接続してください。
2. ステータス LED が点灯するよう BYPASS フットスイッチを押してください。
3. UBもしくはLBのLEDが点灯するようMODEノブを押してください。LBもしくはUBのいずれかのモードを選択してください。
4. BLEND, WAVE, FINE/DEPTH, COARSEノブを50%、12時程度にセットしてください。
5. FILTER/RATE ノブを最大にセットしてください。
6. エクスプレッション ペダルを接続している場合、ペダルを踏み込んだ状態にセットしてください。
7. FINE 及び、もしくは COARSE ノブにてモジュレーション フリーケンシーを変更可能です。

### シングル サイドバンド モジュレーターのアートマティック チューン

楽器にて1音プレイし、PRESET/TUNE フットスイッチを約1秒、長押し(ホールド)してください。Ring Thingの内蔵モジュレーターが自動的にプレイされた音にチューニングされます。この機能はモノフォニックでプレイされた和音の解析ではなく、基準音の検知を目的としてデザインされています。継続的に入力信号にチューンするために、PRESET/TUNE フットスイッチをホールドしておくことも可能です。

### WAVE機能

UB/LBモードではシングル サイドバンド モジュレーターのエッジフォームをセットします。12時にセットしますとモジュレーターはサイン波になります。ノブを12時より下にしますと2倍音が、上にしますと3倍音がサイン波に加えられます。

### エクスターナル オシレーターの使用

UB, LBのカリヤとして外部オシレーターを使用したい場合、WAVEノブを最小にセットし、Ring ThingのMODインプット ジャックに外部インストゥルメント、マイクプリアンプなどを入力してください。MODインプットに入力した信号がRing Thingの内蔵モジュレーターより優先されます。

### エクスプレッションペダルの使用

EXP ¼" ジャックにエクスプレッション ペダルを接続し、FINEノブを最小にセットしてください。エクスプレッション ペダルにてモジュレーション フリーケンシーをコントロールできます。COARSEノブにてペダルを踏み込んだ際のレンジを調整可能です。

### トラブルシューティング

シングル サイドバンド モジュレーターが聴こえない場合や、予期せぬ何かが起きた場合、BLENDノブが50%以上にセットされているか、FILTER/RATEノブが最小にセットされていないか、ご確認ください。

## ピッチシフト モードでのベーシック セッティング

ピッチシフト モードでは入力信号は全てシフトされます。

1. 前述の要領で Ring Thing を接続してください。
2. ステータス LED が点灯するよう BYPASS フットスイッチを押してください。
3. 全てのモードLEDが点灯するようMODEノブを押し、ピッチシフトモードを選択してください。
4. WAVE, FINE/DEPTHノブを50%、12時程度にセットしてください。
5. BLEND及びCOARSEノブを最大にセットしてください。
6. FILTER/RATE ノブを最小にセットしてください。インターナル モジュレーションがオフになります。
7. エクスプレッション ペダルを接続している場合、ペダルを踏み込んだ状態にセットしてください。
8. FINE 及び、もしくは COARSE ノブにてピッチシフト フリーケンシーを変更可能です。COARSE ノブにて±2 オクターブのレンジをディスプレイ ステップごとに設定し、FINE ノブにてステップ内を調整します。

## ピッチシフトでのインターナル モジュレーションの使用

ピッチシフト モードではWAVEノブにてインターナル モジュレーションのウエーブフォームがセットされます。このモードでモジュレーションを得るためにはFILTER/RATEノブが上がっている必要があります。FILTER/RATEノブがゼロより高いポジションにセットされましたらFINE/DEPTHノブの機能はFINEからDEPTHのモジュレーションになります。FILTER/RATEノブにてモジュレーションのレートが設定され、FINE/DEPTHはモジュレーション デプスになります。ノブ最小からSQUARE, SINE, RAMP DOWN, RAMP UP, TRIANGLE.へとノブを上げるにつれ変化します。

## エクスターナル オシレーターの使用

ピッチシフトをモジュレートするため、外部オシレーターを使用したい場合、WAVEノブを最小にセットし、Ring ThingのMODインプットジャックに外部オシレーターを入力してください。FINE/DEPTH ノブにてエクスターナル モジュレーションのデプスをコントロール可能です。FILTER/RATE を最小にセットしますとエクスターナル モジュレーションが使用不可になります。

## エクスプレッションペダルの使用

EXP 1/4" ジャックにエクスプレッション ペダルを接続してください。エクスプレッション ペダルにてピッチシフト量をコントロールできます。COARSEノブにてペダルを踏み込んだ際のレンジを調整可能です。ペダルを完全に戻した状態(上)にしますとモジュレーションは聴こえますがピッチシフトはなしになります。

## トラブルシューティング

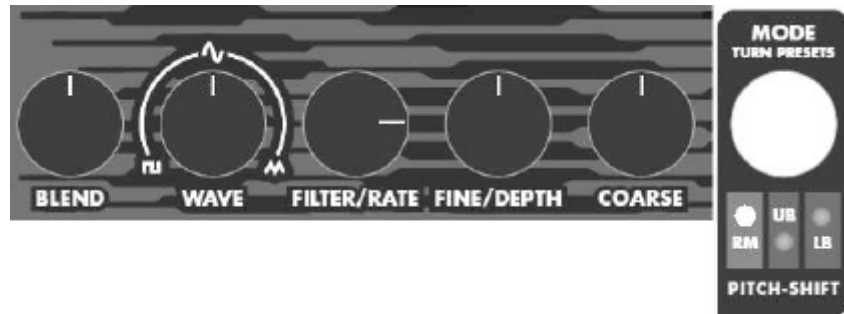
ピッチシフトが聴こえない場合や、予期せぬ何かが起きた場合、BLENDノブが50%以上にセットされているかご確認ください。モジュレーションによって何が発生しているか判別しにくい場合、FILTER/RATEノブを最小にセットし、モジュレーションをオフにし、続けてFINEを12時にセットしてみてください。

## セッティング例

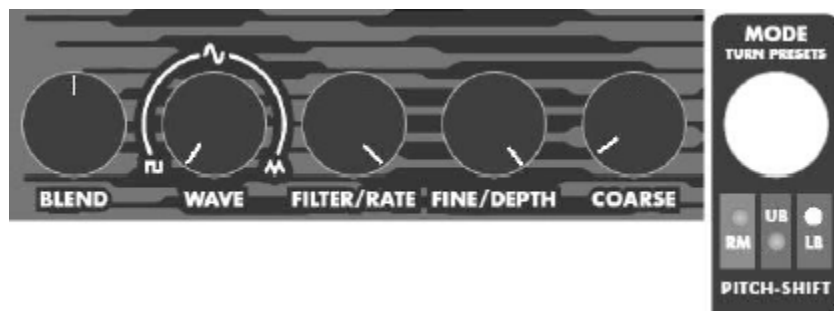
### DETUNE



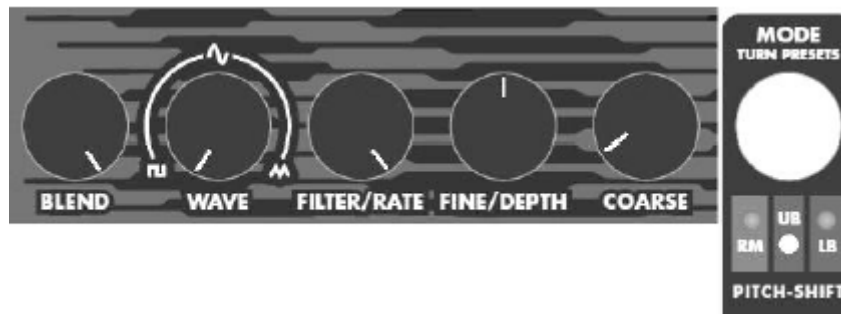
### RING MOD



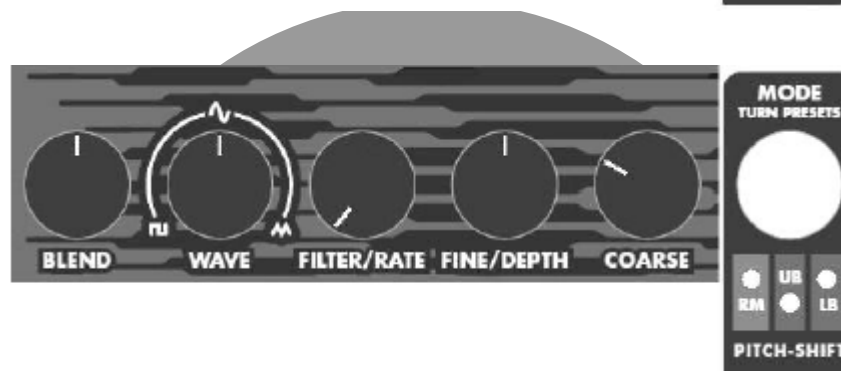
RING VIBE



TREMOLO



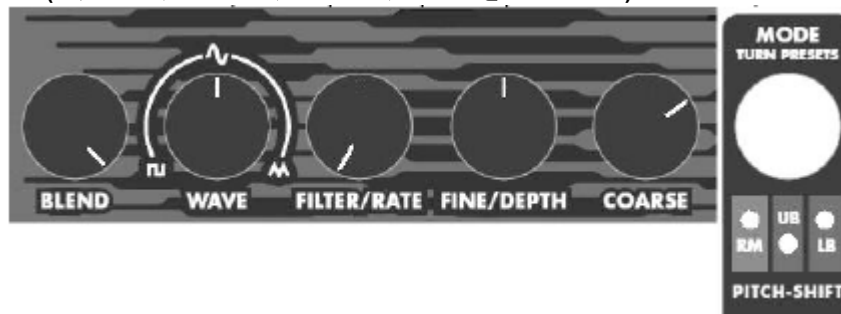
SUB OCTAVE



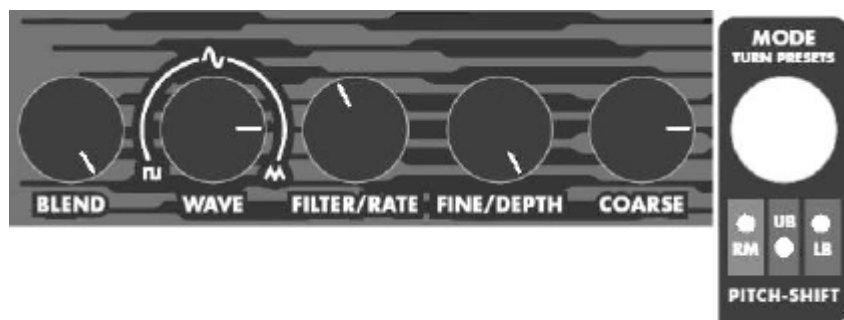
ROTARY THING



OCTAVE UP/WHAMMY (エクスプレッション ペダルにてピッチシフトをコントロール)



## PITCH MOD



### - モード -

The Ring Thing にはリングモジュレーション(RM)、シングル サイドバンド-アッパー(UB)、シングル サイドバンド-ローワー(LB)、ピッチシフト(PS)の4モードがあり、各モードで異なるエフェクトが得られます。また、モードによってコントロールの動作、役割が異なります。

MODEノブを押しますとモードが切り替わります。

下表は各モードでのコントロールの動作を表したものです。矢印は各ノブをその方向に動かした際の動作を示します。

| Blend      | WAVE                                    | FILTER/RATE                    | FINE /DEPTH             | COARSE                  | MODE           |
|------------|---|--------------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------|
| ←Dry Wet → | 波形<br>表示どおり                             | ←Low Pass フィルタ<br>→なし→         | フリーケンシー<br>←-33% +33% → | フリーケンシー<br>←0.1 2390Hz→ | Ring Mod       |
| ←Dry Wet → | 波形<br>←Sine +2F ...Sine...<br>Sine +3F→ | ←Low Pass フィルタ<br>→なし→         | フリーケンシー<br>←-33% +33% → | フリーケンシー<br>←0 2390Hz→   | Upper Sideband |
| ←Dry Wet → | 波形<br>←Sine +2F ...Sine...<br>Sine +3F→ | ←Low Pass フィルタ<br>→なし→         | フリーケンシー<br>←-33% +33% → | フリーケンシー<br>←0 2390Hz→   | Lower Sideband |
| ←Dry Wet → | 波形<br>表示どおり                             | Mod Rate<br>←Off, 0.1Hz 500Hz→ | 半音/Depth<br>←-1 +1→     | ピッチシフト<br>←-2Oct +2Oct→ | Pitch Shift    |

\* ピッチシフトモード(PS)ではFILTER/RATEノブの設定がゼロではないとき、FINE/DEPTHノブはモジュレーションデプスになります。

### 各モードについて

#### RM: リングモジュレーター

このモードはスタンダードなリングモジュレーターです。キャリア フリーケンシーを本体でコントロールするほかに、FILTER/RATEノブをコントロールすることで内蔵ローパスフィルタをコントロールし、エフェクトのトーンを調整したり、また、ウエーブフォームを5タイプの中から選択可能です。(更に外部のウエーブフォームもお使いいただけます。)また、エクスプレッション ペダルを接続し、キャリア フリーケンシーをコントロールすることも可能です。

**BLEND** – 原音とエフェクト音のバランスを調整します。

**WAVE** – キャリア、モジュレーション ウェーブ フォームをセットします。(Square, Sine, Ramp Down, Ramp Up, Triangle.)

**FILTER/RATE** – ローパスフィルターのカットオフ フリークエンシーを調整します。

**FINE/DEPTH** – キャリア/モジュレーション フリークエンシーを微調整します。

**COARSE** – キャリア/モジュレーション フリークエンシーを調整します。(ワイドレンジ)

**PRESET/TUNE FSW** – 押しますとプリセットを読み込みます。長押し(ホールド)しますとインストゥルメントにてプレイしたノートにキャリアをチューニングします。

**EXP. PEDAL** – キャリア/モジュレーション フリークエンシーを調整します。

#### **UB: アッパー サイドバンド モジュレーション**

スタンダード リングモジュレーターはキャリア フリークエンシーを基に2個のサイドバンドを作成します。UB(アッパー サイドバンド)ではLeftアウトからアッパー サイドバンドをRightアウトからローワー サイドバンドを出力します。ノブの役割についてはUB, LB共通です。

#### **LB: ローワー サイドバンド モジュレーション**

LB(ローワー サイドバンド)ではLeftアウトからローワー サイドバンドをRightアウトからアッパー サイドバンドを出力します。

**BLEND** –原音とエフェクト音のバランスを調整します。

**WAVE** – キャリア サインウェーブに倍音を加算、減算しキャリア、モジュレーション ウェーブシェイプを調整します。

**FILTER/RATE** – ローパスフィルターのカットオフ フリークエンシーを調整します。

**FINE/DEPTH** – キャリア/モジュレーション フリークエンシーを微調整します。

**COARSE** – キャリア/モジュレーション フリークエンシーを調整します。(ワイドレンジ)

**PRESET/TUNE FSW** – 押しますとプリセットを読み込みます。長押し(ホールド)しますとインストゥルメントにてプレイしたノートにキャリアをチューニングします。

**EXP. PEDAL** – キャリア/モジュレーション フリークエンシーを調整します。

#### **PS: ピッチシフト**

ギター signals のピッチを一定量、上下にシフトします。このモードでは和声の関係は変わりませんのでピッチシフトされた音、コードは原音からシフトされているだけで、和音自体は変化しません。

**BLEND** –原音とエフェクト音のバランスを調整します。

**WAVE** – モジュレーション ウェーブ フォームをセットします。(Square, Sine, Ramp Down, Ramp Up, Triangle.)

**FILTER/RATE** – モジュレーション レートを調整します。ノブを最小にしますとモジュレーションはオフになります。

**FINE/DEPTH** – モジュレーションがオフの場合、ピッチシフト量を微調整します。モジュレーションがオンの場合、モジュレーションデプスを調整します。

**COARSE** – ピッチシフト量を調整します。+/- 2 オクターブ。12時にセットしますとピッチシフトされません。

**PRESET/TUNE FSW** – プリセットを読み込みます。

**EXP. PEDAL** – ピッチシフト量をコントロールします。

### **- コントロール、インジケーター、I/O -**

#### **MODE KNOB**

The Ring Thingの動作のモード、プリセットの選択、プリセットの保存に使用するロータリー エンコーダー、プッシュスイッチです。

MODEノブを押しますとモードが切り替わりますまたMODEノブを3秒程度、長押し(ホールド)しますとプリセット保存プロセスに入り、全てのプリセットLEDが点滅します。LEDの点滅が止まるまでMODEスイッチを押しますとプリセットが保存されます。

MODEノブを回しますとプリセットが切り替わります。プリセット1から更に右に1ステップ回しますとプリセットLEDが点灯しない状態になります。この状態ではノブの設定がそのまま有効になったエフェクトが得られます。

#### **COARSE KNOB**

COARSEノブは動作モードによって機能が異なり、リングモジュレーター フリークエンシー、ピッチシフト量をコントロールします。新しいサウンドを作る際、このノブを初めにコントロールするノブに適しています。

#### **RM/UB/LB**

リングモジュレーターのサイドバンド フリークエンシーの距離をコントロールします。範囲は0.1Hz~2940Hzです。

#### **PS**

ピッチシフト量をコントロールします。レンジは-2オクターブ~+2オクターブです。12時にセットしますとピッチシフト量は0です。

COARSEノブでのピッチシフトのコントロールは半音刻みです。FINEノブにて微調整可能です。

### **FINE/DEPTH KNOB**

FINE/DEPTHノブはリングモジュレーターのフリークエンシー及びピッチシフト量を微調整します。ピッチシフトではコントロールレンジは上下半音です。リングモジュレーターではより細かくフリークエンシーを調整可能です。モジュレーションがオンの場合、このノブはモジュレーションのデプスをコントロールします。

### **RM/UB/LB**

COARSEノブと組み合わせてキャリア/モジュレーション フリークエンシーを微調整します。COARSEノブにておおよそのフリークエンシーをセットし、続けてFINEノブにて微調整してください。

### **PS**

ピッチモジュレーションがオフ(FILTER/RATEノブが最小)の場合、COARSEノブと組み合わせてピッチシフト量を調整します。コントロールレンジは上下半音です。インターナル モジュレーションを使用する場合、FINE/DEPTHノブはモジュレーション デプスのコントロールになります。

### **FILTER/RATE KNOB**

FILTER/RATEノブはリングモジュレーターモードではローパスフィルター(36dB / Oct)をコントロールします。ピッチシフトモードではモジュレーション レートをコントロールします。

### **RM/UB/LB**

ローパスフィルターをコントロールします。ノブを最大にしますとフィルターはオフになります。

### **PS**

モジュレーション レートをコントロールします。ノブを最小にしますとモジュレーションはオフになります。また、最大にセットしますと500Hzです。FINE/DEPTHノブにてモジュレーション量がコントロールされます。FINE/DEPTHノブが最小にセットされている場合、ピッチモジュレーションはオフです。

### **WAVE KNOB**

モジュレーションの波形を変更します。リングモジュレーター、ピッチシフトモードでは5種の波形から選択です。WAVEノブは方形波からサイン波、、、へとクロスフェードします。サイドバンドモードでは常時、サイン波でWAVEノブにて2次倍音(12時より下)、3次倍音(12時より上)を付加します。

### **RM**

モジュレーションの波形を選択します。SQUARE, SINE, RAMP DOWN, RAMP UP, TRIANGL

### **UB/LB**

常にサイン波です。12時より低くセットしますと2次倍音が付加され、12時より高くセットしますと3次倍音が付加されます。

### **PS**

FILTER/RATEノブがゼロ、最小の場合には機能しません。ゼロではない場合、モジュレーションの波形を選択します。SQUARE, SINE, RAMP DOWN, RAMP UP, TRIANGL

注: MODインプットに外部オシレーターを入力し、リングモジュレーターのキャリアフリークエンシー、ピッチシフトのモジュレーションとして使用する場合、WAVEノブを最小にセットしておく必要があります。WAVEノブが最小にセッティングされていない場合、外部モジュレーターは使用不可です。

### **BLEND KNOB**

原音とエフェクト音のバランスをコントロールします。ノブを最小にセットしますと原音100%になり、ノブを最大にセットしますとエフェクト音100%になります。

### **PRESET LED LADDER**

The Ring Thingはプリセットを9個、保存、呼び出し可能です。COARSEノブの下のPRESET LED LADDERに選択されているプリセットが表示されます。MODEノブを回しますとプリセットが選択され、点灯するLEDも変わります。続いてPRESET/TUNEフットスイッチを押しますとそのプリセットが読み込まれます。

### **PRESET/TUNE Footswitch**

PRESET/TUNEフットスイッチにはプリセットの読み込み、スクロールとINSTジャックに入力した信号にリングモジュレーターをチューニング(リングモジュレーターモードのみ)する機能があります。

#### **プリセットの読み込み**

MODEノブを回し読み込むプリセットを選択し、続けてPRESET/TUNEフットスイッチを押してください。プリセットが読み込まれますとPRESET LEDが点灯します。プリセットが読み込まれている際にPRESET/TUNEフットスイッチを押しますと次のプリセットが読み込まれます。同様にPRESET/TUNEフットスイッチを押していきまるとプリセットがスクロールしていきます。PRESET 9までスクロー

ルし、更にPRESET/TUNEを押しますとプリセットLEDが消灯し、パネルのセッティングが有効になります。その状態からPRESET/TUNEを押しますとPRESET 1が読み込まれます。

RM/UB/LB モード時にPRESET/TUNEフットスイッチを約1秒、長押し(ホールド)しますとThe Ring Thingはプレイしたノートにキャリア信号を合わせます。この機能はモノフォニックで、コードにはチューニングしません。この機能を使用した場合、COARSEとFINEノブの設定は無効になります。

#### **PRESET LED**

PRESET/TUNEフットスイッチの側にあるLEDです。読み込まれているプリセットが変更されている場合、このLEDは点滅します。この状態でPRESETフットスイッチを押しますと保存されているプリセットに戻ります。

#### **BYPASS Footswitch / STATUS LED**

エフェクトオン/バイパスを切り替えるフットスイッチです。エフェクトがオンの場合、ステータスLEDが点灯します。バイパス時にはINST インプットに入力した信号がダイレクトにMONO/Left, Rightアウトに接続されます。

#### **INST INPUT Jack**

楽器を入力するジャックです、入力インピーダンスは2MΩです。

#### **MOD INPUT Jack**

外部モジュレーション ソースを入力するジャックです。外部モジュレーションを使用する場合、WAVEノブを最小にセットする必要があります。入力インピーダンスは2MΩです。

#### **EXP INPUT Jack**

外部エクスプレッション ペダルを入力するジャックです。エクスプレッションペダルはTRSタイプで極性が合ったものがが必要です。プラグのチップがペダル内部のポットの摺動子に接続されているものをお使いください。エクスプレッション ペダルの仕様が不明な場合には、極性を変更可能なものを選択してください。推奨エクスプレッション ペダル: M-Audio EX-P, Moog EP-2, Roland EV-5, Boss FV-500L このジャックにコントロール ボルテージ(0~5V)することも可能です。

#### **RM/UB/LB**

エクスプレッション ペダルにてモジュレーション フリーケンシーをコントロールします。

**注: 必ずFINE ノブを最小にセットしてください。**

FINEノブを最小以外にセットしますとエクスプレッション ペダル機能はお使いいただけません。COARSEノブにてペダルを踏み込んだ際の設定、コントロールレンジを調整可能です。PRESET/TUNEフットスイッチを用いてインストゥルメントでプレイしたノートにチューニングすることもできます。この場合、踏み込んだポジションがそのフリーケンシーにチューニングされます。

#### **PS**

エクスプレッション ペダルにてワーマーペダルのようにピッチシフト量をコントロールします。COARSEとFINEノブにてペダルを踏み込んだ際のピッチシフトの上限がセットされます。ペダルを戻した場合にはピッチシフトはゼロです。モジュレーションがセットされている場合、エクスプレッション ペダルはモジュレーションとともにノートを変えます。

ノブの設定同様、ペダルのセッティングも保存可能です。

#### **MONO/L and R OUTPUT Jacks**

The Ring Thingをモノでお使いになる場合、MONO/Left アウトを出力にお使いください。ステレオで使用する場合には各アウトをそれぞれのアンプに接続してください。

RM及びPSモードではBLENDノブの後のエフェクト信号がLアウトに送られRアウトは100%ドライ音です。UBモードではアッパーバンドがLアウトからローワースバンドがRアウトから出力されます。LBではローワースバンドがLアウトからアッパーバンドがRアウトから出力されます。

#### **9V Power Jack**

付属のACアダプターを接続するコネクタです。

#### **Technical Specifications**

Sample Rate = 46.93 kHz

A/D、D/A 変換 =24 bits

Processed Audio Bit Resolution = 32 bits



## PRESETS

The Ring Thingではプリセットを9個、保存可能です。プリセットにはモード、ノブのセッティングPRESET/TUNEフットスイッチやエクスペッション ペダルにてチューニングされたフリーケンシー、エクスペッション ペダルのセッティングなども保存されます。エクスペッション ペダルを接続しないで保存したプリセットをエクスペッション ペダルを接続した状態で読み込んだ場合、エクスペッション ペダルは無視されます。

### プリセットの保存:

1. ノブのセッティングが完了しましたら、MODEノブを回し、プリセットを保存するナンバーを選択してください。
2. MODEノブ押し、3秒程度ホールドしてください。MODEノブを2秒程度ホールドしますと全てのモードLEDが約1秒点滅します。
3. プリセットが保存されますと点滅が止まります。MODEスイッチを離してください。
4. MODEノブを放しますとプリセットがロードされていることを表示するPRESET LEDが点灯します。

### プリセットのロード

プリセットの読み込み方法は2通りあります。

### PRESET/TUNEフットスイッチの使用

1. PRESET/TUNEフットスイッチを読み込みたいプリセットが選択されるまで押してください。プリセットが読み込まれますとPRESET LEDが点灯します。

注 ノブの位置は呼び出されているプリセットの設定値とは異なります。ご注意ください。

### MODEノブとPRESET/TUNEフットスイッチの使用

1. MODEノブを読み込みたいプリセットのLEDが点灯するまで回してください。
2. PRESET/TUNEフットスイッチを押してください。プリセットが読み込まれPRESET LEDが点灯します。

プリセットをロードした後、ノブを動かしますと設定が変更されます。その場合、PRESET LEDがノブの動きに反応し点滅します。

プリセットを読み込んだ後、MODEノブにてプリセットをスクロールしてもプリセットは最後に読み込んだプリセットのままです。この時点で、MODEノブをホールドするかPRESET/TUNEフットスイッチを押しますとそのプリセットを別のロケーションに保存可能です。

### プリセットのアンロード

MODEノブをPRESET LED LADDERが点灯しないポジションまで回しますと呼び出されているプリセットがアンロードされ、パネルのノブ設定のサウンドになります。

# MEMO



# MEMO





正規輸入代理店

株式会社 キョーリツコーポレーション

カスタマーサポート

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 1-9-11

NEWS日本橋堀留町ビル 10F

TEL : 03-5614-4133 FAX : 03-5614-2166

E-MAIL : support@kcmusic.jp